

自給農耕ゼミ（小金井）第3回開催

案内

市民農園や都市農業をもっと広げたい、小金井でエディブル・ウェイ（食べられる道）を作ってみよう、エコミュージアムなまちづくり、雑穀や野菜の在来品種についてもっと知りたい、どのように幸せな暮らしを築くのかなどなど、家族農耕 farming をゆったりと語りあう会です。これからも学習会や栽培実践、読書会などを通し、共に学び合う場を共有しましょう。お気軽にご参加ください。奇数月で開催予定。

参加申込みをしてくださった方には当日の ZOOM の URL と会場配布資料をメール添付でお送りします。来場をご希望の方には会場定員内で交通案内をお伝えします。

○日時：2022年1月16日（日）13:00～15:00 **時間変更**

○場所：小金井市中町カエルハウスおよびオンライン（zoom）（定員：会場15名、オンライン20名）

○プログラム：話題：都市に残された農地の未来と課題

話者：高橋金一さん（農家）、（30分）。座談会（90分）。

○参加方法：参加希望の方は、042-316-1511（カエルハウス運営委員会）または

office@katayamakaoru.net 会場参加費は300円（お茶、資料代）。

ZOOM の URL はお知らせします。

○協催：カエルハウス運営委員会、NPO 自然文化誌研究会（植物と人々の博物館／雑穀街道普及会）。

*資料に関する質問は kibi20kijin@yahoo.co.jp 木俣美樹男にお寄せください。

*このゼミの動画、話題資料などは、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、互いに体験と知識など学び合う環境学習市民連合大学の下記サイトで一般公開します。

<http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

環境学習市民連合大学は環境学習実践理論「環境学習原論」を普及啓発する目的で、ウェブサイトを作っています。主旨は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学び合う環境学習市民連合大学をリンク・ページとして、インター・ネット上で運営することです。ヨーロッパのルネサンスの先駆けとなった原初の大学は学び合いたい人々の学習者組合でした。教師も学生も互いに学びの自由を守護し合い、共助していました。入学資格、試験、授業料、卒業資格はありません。どなたでも、学び合いたい人々が自由に集まるのです。今この時に、人生における学ぶ意味について改めて考え直したいです。このサイバー大学は任意無償提供の学習素材、任意寄付で維持します。この提案にご賛同の方々の参加（リンクなど）を広く求めます。よろしくご連絡をお願いします。最近の録画、話題資料メモは上記サイトにあります。